

一般質問

5人登壇



町長の行政報告から (要旨)

4月1日付け職員の人事異動及びグループ制の導入

今回の異動は、定年等による退職者の補充、新規採用職員の発令、比較的在職年数の長い職員を異動、結果合計55名の発令となった。

グループ制は、行政改革等による職員数の抑制により、最小の経費で最大の効果を上げる行政組織を目指し、また、課題解決や目標達成に向け職員相互が協力し合い、地方分権時代に相応しい簡素で効率的な行政運営と活性化を図るべく、グループ制を導入し、4部24課体制を4部12グループに編成した。

今後、検証を行いながら、これまで以上に住民サービスの向上を図っていききたい。

しゃきっとプラザのぼや騒ぎ

5月15日午後0時13分頃、しゃきっとプラザ1階トイレ前の物品庫に一時保管していた、ごみカート内からぼやが発生した。原因は、正面玄関横の灰皿からたばこの吸い殻を他の一般ごみと一緒にカートに入れたもの。火災報知器の発報で職員が消火し、大事には至らなかった。

当施設は、健康づくりの中核施設であることから、これを契機に同敷地内を完全禁煙とし、あわせて夜間、土・日、祭日等の職員等の少ない場合の役割分担等を再検討し、避難誘導等の徹底を図りたい。

今回の騒ぎに対し、心よりお詫び申し上げ、二度と発生しないよう注意していききたい。

ご寄附

3月23日、豊岡にお住まいであった平野登様から、青少年健全育成のため図書館蔵書充実に100万円。

北海道大学からの小児科医師の常勤派遣

2月16日に北大小児科医局より、本年度から常勤医師を派遣したいとの回答を得て、5月1日に同医局員で新潟厚生連栃尾郷病院に勤務していた高橋富彦医師が着任し、5月8日より診療にあたっている。

市町村合併について

6月2日に開催された道市町村合併推進審議会において、道の合併推進構想原案が公表された。

構想原案では、クラスター分析の樹形図に従い、北見市、訓子府町、置戸町、津別町、本町を含め1市4町の合併構想案が示され、6月中旬に予定されている道市町村合併支援本部会議で合併推進構想案が決定され、第2回定例道議会で議論されるもの。

今後、支庁別に開催される市町村合併推進構想説明会を踏まえ、議会、町民との議論を深め、関係市町の動向を見極めつつ慎重に対応していききたい。

こんなことを聞きました

質問者と質問項目 (要旨)

- 平野茂夫議員 7頁
  - 1 第5期総合計画実施に向けて、団塊の世代の定住対策、住みよい美幌の条件整備
  - 2 第3次美幌町農業振興計画の計画策定の進捗状況、品目横断所得政策対応、品目横断所得政策と農業災害補償法との関連
  - 3 美幌町120年の記念事業
- 松浦和浩議員 8頁
  - 1 力強いまちづくり(地域経済活性化策として)の新経済成長戦略(経済産業省「人財立国日本」)のづくりのまちとしてのイノベーション、地域ブランド支援策(特許庁「地域団体商標制度」)
  - 2 やさしいまちづくり(明るい将来をつくる対策として)の障害者自立支援法の10月改正サービス堅持、地域生活支援事業
- 坂田美栄子議員 9頁
  - 1 教育行政の不登校の対策、児童センターとコミュニティスクールとの連携
  - 2 保健行政の各種検診受診率
- 大原昇議員 10頁
  - 1 町長の姿勢、町長経費で自ら削減できるものはあるのか、陳情・要望等での予算確保及び企業からの税収、町長は町民・職員との関わりをどの様に考えているのか
  - 2 陳情活動の時期相応の陳情を行っているのか、新施設の誘致
  - 3 福祉行政の妊婦の通院補助
- 大江道男議員 12頁
  - 1 道の合併推進構想への対応
  - 2 第6回市町村合併推進審議会に道が示した原案への評価及び美幌町の対応
  - 2 介護保険及び障害者自立支援法の改正に伴う影響及び町の対応
  - 1 新予防プランの作成、予防サービスの基盤整備等の見直し
  - 2 生活援助の削減による影響
  - 3 住居費、食費自己負担化による退所や利用抑制状況
  - 4 報酬切り下げによる施設・事業所経営及び職員への影響は、障害者自立支援関係
  - 1 応益負担導入に伴う授産施設等利用者負担の増大、退所等の状況
  - 2 報酬切り下げによる施設・事業所経営及び職員への影響は